

# 健康・福祉社会学

杉原 陽子 Yoko SUGIHARA

専門：健康社会学，社会老年学，高齢者福祉

研究室：9号館5階565室  
E-mail：sugihara★tmu.ac.jp  
(★を@に変換して下さい)  
個別相談をご希望の場合は  
事前にメールにてご連絡ください。

## ✚ 研究室の概要

### ■ 健康社会学 (Health Sociology) とは？

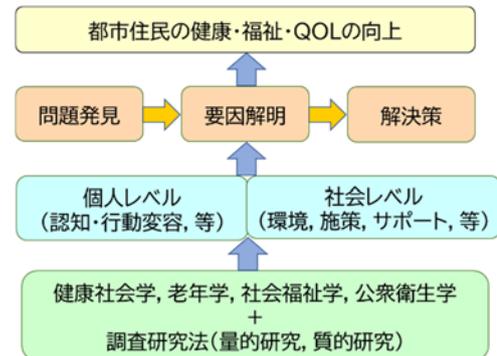
- 人の健康や福祉 (well-being) , QOL (Quality of Life : 生活・生存・人生の質) に関する問題を，社会的，心理的，文化的，制度的な観点から理解しようとする研究分野。
- 健康や病気が社会の中で形づくられる過程を紐解きながら，健康や生活にさまざまな困難を抱えている人の実態を理解し，支援のあり方を考えることを研究目的としています。

### ■ 社会老年学 (Social Gerontology) とは？

- 社会学，心理学，経済学等の社会諸科学の理論や枠組みを用いつつ，それらを統合して，高齢者や老化の社会的側面に関わる現象や課題の解明を目指す学際的な研究分野。
- 高齢期や高齢社会における問題への社会的対応を考えることを研究目的としています。

### ■ 研究室の目的・対象

- 健康や生活に関する問題の原因や対応を考えます。
- 子供から高齢者まで対象とし，困難を抱えている人 (ハイリスク・アプローチ) だけでなく，一般集団全体 (ポピュレーション・アプローチ) も対象としています。
- 課題解決の方策は，個人レベルと社会レベルの両面から考えます。
- 健康社会学，老年学(医学・心理学・社会学)，社会福祉学，公衆衛生学等と，調査研究法 (量的研究・質的研究)を学びます。



## ✚ 学生の研究テーマ

### 【子ども・若者】

- 放課後子ども教室における児童の満足度の規定要因：子どもの居場所づくりの検討
- インターネットがアルファ世代の認知や行動に与える影響
- 大学生の食生活改善のための介入と評価：スマートフォンのアプリを用いて

### 【女性】

- コロナ禍のシングルマザーの課題からみる公的支援ニーズ：新聞記事の計量テキスト分析と定性的内容分析による検討
- ネガティブな被養育経験を有する母親に対する保健師の支援プロセス
- 婦人相談員に対する教育プログラムと支援体制の検討

### 【高齢者】

- 認知症への理解とサポート意識を高めるボードゲームの開発と評価

- 都市部高齢者の自然災害時における避難場所への不安感の関連要因：個人・地域レベルのマルチレベル分析
- 都市部高齢者における医療・介護サービス利用に関する不安感の関連要因
- 虚弱高齢者の社会参加に関連する地域環境要因の検討：健康高齢者との比較
- 高齢者の社会参加に資する情報提供のあり方：都内自治体広報誌の印象評価に基づく検討
- 中国の都市部における空巣高齢者のサポートニーズと社会的支援

#### 【労働・職場環境】

- プレゼンティーズムに着目した健康経営の施策の検討
- 介護施設職員の仕事満足度と就業継続意向に関連する職場環境要因
- 介護労働者のキャリア形成：離職防止策の検討

#### 【社会・地域環境】

- 都市部における地域住民の主体的な支え合いの成立過程に関する検討
- 新型コロナウイルス感染症への政策対応に関する国際比較研究
- ユニバーサル・ツーリズム推進に向けた施策の検討
- 関係人口の効果評価と規定要因の検討：人とのつながりに焦点をあてて
- 廃校を活用した移住促進策の検討：働く場所と地域拠点としての廃校活用

### ✚ 教員の主な研究テーマ

#### ■ 高齢者介護に関する諸課題と支援策・支援基盤の検討

高齢者や介護者の孤立化と多様化が進み、特に所得や家族等の私的資源に乏しい人では、虐待、離職、うつ等の問題が生じています。このような問題を防ぐための支援基盤について検討しています。介護保険制度の改定が高齢者や介護者に及ぼす影響評価や介護サービスの効果評価、介護人材の確保・定着・育成に関する研究にも取り組んでいます。

#### ■ 高齢者における健康格差のメカニズムとその制御要因の解明

高齢期は人生の過程で蓄積された様々な社会的不利の影響が、健康格差として顕在化する時期です。ライフコース・アプローチの視点も踏まえ、高齢者における社会的不利の重層化の要因と機序、制御要因を検討しています。特にセルフ・ネグレクトや 8050 問題などの社会的排除が懸念される高齢者や世帯への支援について調査しています。

#### ■ 高齢者の社会貢献（プロダクティブ・エイジング）とストレス・マネジメント

少子高齢社会への対応として『プロダクティブ・エイジング』という概念が注目されています。高齢者が行う社会や家族への貢献と心身の健康への効果、これらの活動の促進・阻害要因について検討しています。高齢者がボランティア活動や就労等の活動を継続する上でのストレスや健康問題を軽減するための方策についても検討しています。

#### ■ 研究業績等の情報

<https://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/sa/12757.html>

高齢者介護に関する諸課題と支援策・支援基盤の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 家族の介護負担の軽減・ポジティブ感情の向上</li> <li>• 介護保険制度・介護サービスの効果評価</li> <li>• 介護人材の確保・定着・育成</li> </ul>
高齢期における健康格差のメカニズムと制御要因の解明	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会的不利の重層化の機序と制御要因</li> <li>• 健康の社会階層間格差</li> <li>• セルフ・ネグレクトの要因と社会的対応</li> </ul>
高齢者の社会貢献とストレス・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロダクティブ・エイジングの健康への効果検証</li> <li>• プロダクティブ・エイジングの促進・阻害要因</li> <li>• 就労やボランティア活動におけるストレス軽減</li> </ul>